

イベント開催の報告

第1回全国情報セキュリティ啓発シンポジウム やろっさ「インターネット安全教室」in ふくい

<http://www.jnsa.org/caravan/2008/1031fukui/>

経済産業省とJNSA主催事業「インターネット安全教室」の一環として、第1回全国情報セキュリティ啓発シンポジウム『やろっさ「インターネット安全教室」in ふくい』を2008年10月31日(金)に福井県国際交流会館にて開催しました。

シンポジウムは、より安全・安心なインターネット社会への発展を促すことを目的として、今後「インターネット安全教室」のような情報セキュリティ普及啓発活動を日本全国で展開していくにはどうすればよいか、また、地域で困っている点や問題点を共有し、解決策を一緒に考え、ひいては地域に対する「インターネット安全教室」の知名度向上と波及効果につながることを目標として開催しました。当日は教育関係者やPTAの方を始めとする150名余の方にご参加いただくことができ、盛況のうちに終了しました。以下にその報告を記載します。

◆◆◆ 開催概要 ◆◆◆

【日程】 2008年10月31日(金) 13:30～17:00

【会場】 福井県国際交流会館 特別会議室
(福井市宝永3丁目1-1)

【主催】 経済産業省、
NPO日本ネットワークセキュリティ協会
(JNSA)

【共催】 NPOナレッジふくい、福井大学

【後援】 警察庁、福井県警察本部、福井県、
福井市、福井県教育委員会、
福井市教育委員会、
福井県PTA連合会、
福井市PTA連合会、
福井県高等学校PTA連合会、
福井県公民館連合会、
(福)福井県社会福祉協議会、
福井県商工会議所連合会、福井新聞社、
(財)ふくい産業支援センター

【対象】 インターネットの安心安全な利用について問題意識をお持ちの方、または、今後何らかの対策が必要であると感じている方

【プログラム】

第1部:講演 13:40～14:40

今、インターネット社会では何が問題なのか!

・「日本における情報セキュリティ政策について」
経済産業省 商務情報政策局
情報セキュリティ政策室 課長補佐 黒田 俊久

・「サイバー犯罪の現状と対策」

福井県警察本部生活安全部生活環境課
サイバー犯罪対策支援室長 室長 平松 伸福

・インターネット危険サイトの現状(20分)

株式会社アークン 代表取締役 渡部 章

第2部:パネルディスカッション 15:00～17:00

**安全・安心なインターネット社会を実現する為に
地域で・家庭で・学校でできること**

◇コーディネーター

クリエイション(「インターネット安全教室」コーディネーター) 高木 利弘

◇パネリスト

◎国の立場から

経済産業省 商務情報政策局

情報セキュリティ政策室 課長補佐 黒田 俊久

◎情報セキュリティの専門家立場から

京都大学学術情報メディアセンター准教授

上原 哲太郎

◎学校教育の現場の視点から
和歌山大学 教育学部 准教授 豊田 充崇
◎他県の成功事例として
NPO 情報セキュリティフォーラム 事務局長
植田 威
◎福井の立場から地域の悩みなど
福井県PTA連合会 副会長 中村 省一
◎NPOとして普及啓発を推進する立場から
NPO日本ネットワークセキュリティ協会 事務局長
下村 正洋

プログラムは2部構成とし、第1部では問題提議として「今、インターネット社会では何が問題なのか!」と題し、まずは経済産業省情報セキュリティ政策室の黒田課長補佐より日本における情報セキュリティ政策についてご説明いただき、それを受けて福井県警察本部の平松室長よりサイバー犯罪の現状と対策について県内の事例を交えながらご説明いただきました。その後、株式会社アークンの渡部氏から昨今問題になっている2ちゃんねるやプロフ・学校裏サイトなどの事例を交えながら、私たちを取り巻くネット環境の危険性について語っていただきました。

第1部の問題提議を受けて、第2部では「安全・安心なインターネット社会を実現する為に地域で・家庭で・学校でできること」というテーマでのパネルディスカッションを行いました。コーディネーターには、「インターネット安全教室」で全国を回っている株式会社クリエイションの高木氏、パネリストには官・学・NPO・地域のPTA連合会の方などを迎え、それぞれの視点から私たちをとりまくインターネット社会をどのように考え、どうしていけばよいかについて、熱い議論が交わされました。最後に、ナレッジふくいの高嶋事務局長と福井大学田中先生が「福井(北陸3県)安全教室推進協議会設立宣言」をされて終了しました。

今回は、初めての地方でのシンポジウム開催ということもあり、準備も含めて手探りで進めていったような感がありますが、心配された集客の点では予想をはるかに上回る150名もの方々に参加いただきました。また全国各地の「インターネット安全教室」共催団体の方々にも多数ご参加いただき、地方シンポジウム開催の意義を感じることができました。共催団体からは次年度はぜひ我が県で!という声も早速あがったように、今後の地方における情報セキュリティ普及啓発活動の拡大と発展のために、本シンポジウムが何らかの効果をあげることができたのならば幸いに感じます。

